

# 行政視察等報告書

令和2年2月3日

境港市議会  
議長 柗 康弘 様

会派名 公明党境港市議団

代表者 田口 俊介



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	令和 2年 1月 9日（木）～10日（金）
2 視察等先 及び内容	< J I A M市町村議会議員研修 >  令和2年1月9日（木）～10日（金） ☆滋賀県大津市唐崎2-13-1 全国市町村国際文化研修所 J I A M市町村議会議員研修【2日間コース】 『防災と議員の役割』
3 視察等議員	田口 俊介
4 総 経 費	合計（1名） 20,390円 ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

内容：＜1月9日（木）＞

【概要】

1日目は、首都大学東京名誉教授 中林一樹 氏による「地域防災力を向上させるために」また、跡見女子大学教授 鍵屋 一 氏による「平時の防災 ～マネジメントを中心に～」の演題での講義を聴講。その後、「平時の防災と議員の役割」についてのワークショップを行いました。

『地域防災力を向上させるために』の講義では、近年、大型化かつ続発する災害が「複合化・広域巨大化」する一方、高齢化により要支援者の増大、地縁の喪失によるコミュニティの崩壊、また、外国人の激増による国際社会化など、災害を取り巻く日本の現状の話から、事前の危機管理である「リスク管理」と事後の危機管理である「クライシス管理」という二つの危機管理での防災力の強化、「自助」「共助」と「公助」の関係、地域や個人においても「防災計画」を考えておくべきこと、地方議員に最も期待する「防災の取組 10 カ条」や、行政に不可欠な危機管理に必要な能力などについてお聞きしました。

続く『平時の防災 ～マネジメントを中心に～』では、災害発生時に早期に復旧・復興を進める為は何より大事なのは災害による死者をいかに減らすかという事につきるが、今は地域力も低下し、行政のマンパワーも不足している中で、『大災害』発生リスクは高まっているとのことでした。

また、個々人の災害に対する備えについても、行政の災害対策の優先順位が低いのは『正常化の偏見』が根底にあるからで、今こそ危機管理のスイッチを入れないといけないこと、災害関連死をなくすために、「支え合いセンター」の早期設置が必要、など、示唆に富んだ講義をお聞きしました。

講義の後、グループに分かれワールドカフェ形式でのワークショップを行い、東日本大震災の折、岩手県大槌町で災害対応にあたられた平野総務部長（現町長）の手記から、「課題」「教訓」「知恵」を各々が拾い出し、話し合いながら平時に考えておくべき災害対策を考えました。

内容：＜1月10日（金）＞

【概要】

2日目は、はじめに熊本市議会の「車椅子に乗った」議員である村上 博氏による、『災害弱者への対応～熊本地震における経験より～』と題した事例報告を聴講しました。

熊本地震では市内 176 ヶ所の福祉避難所が指定されていたにもかかわらず、被災などの理由で、避難者を受け入れたのは 92 ヶ所にとどまったため、ほとんどの災害弱者（障がい者）は自宅避難となった事や、その中であって熊本学園大学の取り組んだ『インクルーシブ避難所』により、介助を必要とする重度の障がい者のほとん

どがこの避難所で過ごせた事、また、仮設住宅の建設について、いわゆる「バリアフリー」対応の住宅も障がい者の視点からは全くと言って良いほど配慮が足りてなく、多方面への働きかけで、障がい者対応の仮設住宅の基準を変えた事など、経験に基づく貴重な話を聞くことが出来ました。

続く講義では、昨日と同じく、跡見女子大学教授の鍵屋 一氏から、『命を守る地震対策』として、事前対策としては、何はともかく「住宅の耐震化」と「家具どめなど室内の安全化」を進める事が最重要との話があり、特に現行の『持ち家で比較的收入のある層』への補助だけでなく、賃貸住宅も含む全ての住宅への対策が必要であり、高齢化社会に合わせバリアフリーと耐震化をセットにしての支援を考えては…との提言もありました。

午後からは『災害時・復旧復興期の議員の役割』についてのワークショップをワールドカフェ形式にて行い、ここでは、東日本大震災での宮城県東松山市議会議員の行動の手記を通して、大災害時に議会・議員が効率的な対応をする為に、グループワークでじっくりと議論を行いました。

最後はまとめとして、議会におけるBCP（業務継続計画）を考える際の留意点や、防災や災害時の地方議会の役割とは何か、また、議員の役割とはまずは地域での支援活動ではないかとの話や、あらためて、地域住民自らが『地区防災計画』を作る事の必要性などについて伺いました。

#### 【所感】

近年、災害発生の頻度が増し、大型化する中であって「議員として何を考え、実行すべきか」ということについて、講義だけでなく実際の体験談を基にワークショップで全国の議員と意見交換しながら考えることができたことは、様々な自治体議会の取組みを知ることができ、大変に有意義でした。

報告者 : 田口 俊介